2017年秋号（Vol.27）

みつなり通信

公明党衆議院議員
外務大臣政務官
岡本三成

KOMEITO
公明党

岡本三成

公明党衆議院比例区・北関東ブロック
（2期目）

1965年　5月5日佐賀県生まれ
1988年　英国グラスゴー大学留学
1989年　創価大学卒業
1989年　シティバンク勤務
1998年　米国ケロッグ経営大学院修了
　　経営学修士号（MBA）取得
1998年　ゴールドマン・サックス証券勤務
2005年　同社執行役員
2012年　衆議院議員に初当選
2017年　外務大臣政務官（第3次安倍第3次改造内閣）
所　属　衆・外務委員会
党役職　広報委員会 宣伝局長
　　国際局次長
住まい　埼玉県所沢市
家　族　妻と二女

発行元
公明党 衆議院議員　岡本三成事務所

【国会事務所】〒100-8981　東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1005号室
TEL：03-3508-7147　FAX：03-3508-3637

【所沢事務所】〒359-0046　埼玉県所沢市北所沢町2268-2
リラリエール201号室

【Facebook】 www.facebook.com/okamoto.office
【Website】 www.m-okamoto.jp
【Twitter】 @OkamotoOffice
【メルマガ】 ご登録 → http://nippon-saiken.jp

外務大臣政務官に就任

８月７日に、外務大臣政務官を拝命いたしました。

政務官としての私の担当は、地域では「北米局・中南米局」、政策区分では「軍縮・核不拡散問題、経済連携交渉」、そして国会の委員会として「安全保障、拉致被害者、沖縄北方領土」です。これらは、日米外交をはじめとして、外務省の極めて根幹となる重要部門です。

これまで海外で培ってきた経験と人脈をフルに活かしながら、日本外交の一翼を担い、真剣に働いてまいります！

外交とは、平和的手段によって国益を最大化するための対外交渉を行うことにあると思います。地球益、人類益という広い立場で困難な課題を解決していくことも、重要な国益であると考えています。その意味で今、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs）」の推進に、日本が世界のリーダーとして率先して取り組んでいかれるよう、私自身もより一層尽力して参ります。

南米・米国出張
（8月29日～9月7日）

外務大臣政務官として、南米（ブラジル・パラグアイ・ウルグアイ）と米国に出張して参りました。

ブラジルでは、両国政府主催の「日伯インフラ協力会合」で挨拶し、両国のさらなるパートナーシップ強化への期待を述べました。

パラグアイでは、ロイサガ外務大臣と意見交換を行いました。また、日本への理解を深め、信頼関係の構築に貢献してこられた日系人の皆さんと懇談させて頂きました。

ウルグアイでは、ニン・ノボア外務大臣と会談、さらに現地で活躍するJICAシニアボランティアの方々と懇談し、現地での活躍に謝意を述べるとともに、活動への一層の支援を約束しました。

米国では、ニューヨークにおいて、経済・金融・国連関係者と面会。ゴールドマン・サックス証券勤務時代に同僚だった、ニューヨーク連邦準備銀行のダドリー総裁とも、意見交換しました。

学校給食費無償化へ、一歩前進

2016/2/25予算第4分科会

文部科学省が公明党の主張を受け、公立小・中学校の給食の無償化に関する全国調査に乗り出しました。学校給食無償化に向けた取り組みの実施は、私も国会質問で取り上げてきましたので、この前進に手応えを感じています。我が国における子どもの貧困率は深刻な社会問題で、調査によると、7人に1人が貧困。一人親世帯においては実に、2人に1人が貧困状態。子どもの貧困問題を解決し、子育て支援の方策として学校給食の無償化を実施している自治体は年々増加、現在は約60自治体あります。北関東では、群馬県渋川市、栃木県大田原市、埼玉県小鹿野町、茨城県大子町等で、公明党議員が自治体と協力して実施に尽力してきました。

給食費無償化に必要な予算は、合計4,400億円程。仮に全て国費で賄っても、国家予算全体の0.5％です。子どもにお金をかけるということは、未来に投資するという事。私は、今後も給食費無償化の実現を目指します。

今では無料配布が当たり前の教科書も、昔は有料でした。54年前に、教科書無償化を池田勇人総理（当時）に決断させたのは、公明党の柏原参議院議員でした。「1人を大切にする政治」を忘れずに、これからも、日本の宝である若者支援に全力で取り組んでまいります。

シリア難民留学生の研修を視察（9月11日）

党難民政策プロジェクトチームとして、谷合参議と、広島市で行われた、シリア難民の留学生の研修を視察。これは、私が2015年に予算委員会で総理に提案させていただいて以来取り組んできた、シリア難民の若者を日本へ留学生として受け入れるプログラムが実現したものです。

私の母校創価大学でも、2名を受け入れ予定です。将来母国のために働きたいと決意する留学生の話を伺い、一層の支援の決意をいたしました。

（写真左：2015/9 ガザ地区視察、右：研修視察）

茨城県境町商工会で、経済講演（8月22日）

茨城県境町の商工会において、『グローバル時代を生き抜くためには』と題して、経済講演を行わせて頂きました。

橋本町長は、公明党田山市議とともに、境町の小中学校でのネイティブスピーカーによる英語教育実施を実現するなど、町をあげての国際競争力強化に取り組まれており、私もそうした取組みの重要性を訴えました。

群馬県（8月2日）、埼玉県（8月20日）議員研修会に

群馬の研修会は、政策力・発信力・拡大力・現場力のテーマ別にグループ別議論。埼玉の研修会では、「青年政策で拓く地域の未来」と題して、ネイティブ英語教育の強化や、婚活支援について、公明党がリードした実例を紹介しました。各研修会ではまた、更なる研鑽強化を誓い合いました。

（写真左：群馬県、右：埼玉県）

第2回若者会議を開催（7月26日）

応募してくれた少人数の皆さんを国会事務所にお招きし、懇談的に90分間、若者目線で「政治のあり方」についてアドバイスを頂きました。若者はスゴい！というのが、率直な感想。財政問題・IR・テロ等準備罪・福祉政策・国民との対話手法・選挙に行く意義など、様々な意見を頂きました。本当に勉強になるとともに、とても爽やかな気持ちになりました。